



静岡県地方版
第362号
2022-2-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの 運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する

一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

頼もしい中東遠支部結成に思う

県本部理事 浅野 猛

昨年11月21日、磐田市のアイ・プラザにおいて中部支部を2つに分割して新しく中東遠支部を結成することになりました。4年前に中部支部を発足させた時は、まだ30人だったそうですが、昨年の秋には200人を超える大きな組織になりました。

中部支部がこれまでに大きくなったのは、県副会長の山田巖さん、県事務局長の早崎末浩さんと支部役員の協力でした。毎月の支部役員会での目標、行動予定の実行のたまものです。今日の日本の政治が、戦時中の暗黒政治に逆戻りする危機感から、二度と戦争をさせない、暗黒社会を繰り返さない思いから国賠同盟に力を注がれたと思います。中部の東地域を志太榛原支部に、西地域を私たち87名の中東遠支部となりました。

中部支部は以前から200名の会員になったら分割することにはしていましたが、いざ別れる準備になると、うまく運営できるだろうかと不安がよぎるばかりでした。中部支部からの旧役員は山本紀光さんと私で、特に

私は、愛知から来て間がなく地名も知らない、治安維持法犠牲者についても学習不足で不安だらけでした。そうした中で、経験豊富な山田俊廣さん、竹原賢司さんの役員候補の紹介があり、ホットした気持ちになりました。そして支部長予定になっていた山田俊廣さんに骨折って頂き、掛川市の鴨川登さん、御前崎市の元市議の清水澄夫さんをお願いすることができ、6名の役員体制で力強く船出する事になり本当にうれしい思いです。

支部会は、初めに1時間間は当番制で『治安維持法と現代』を使った学習をします。政治情勢から始まり、地域の原発、リニア問題、地域のイベントのとりくみを紹介しながら意見交流します。中東遠支部としてのとりくみは、「伊藤千代子」の映画会を袋井で秋ごろに開催することで準備を進めています。また国会請願署名のとりくみも団体50、個人400を4月までに、そして会員拡大についても100人の目標達成に向かって活発に話し合いを進めています。閉会時に山田支部長からは毎回、署名に書いていることを思い起こして頑張ろうと締めくくられます。本当に頼もしい支部です。

(中東遠支部事務局長・あさの たけし)

コロナ拡大で2月の県本部理事会は中止に

2月8日に予定していた2月の県本部理事会は、コロナの感拡大をふまえ中止し、県本部大会やこの間の理事会で確認してきた方針にもとづいて、500名会員の実現や国会請願署名の促進、劇映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯、学習活動、会費納入など財政活動の促進をはかつていくことにしました。



劇映画「わが青春つきるとも」

島田で県下最初の上映会準備すすむ

10万円の債券普及で製作費を確保しながら映画製作をすすめるとりくみは、コロナ禍のもと撮影を終え最終の編集作業に入っています。3月には完成、第一次上映運動が4月15日から全国一斉に始まるのをうけ、県下最初の上映会が4月23日(土)の午後と夜、島田市のプラザおおるり大会議室で開催されます。上映実行委員会は、会議を重ねながら学習とともに宣伝対策や製作上映協力券普及を進めています。

2月19日(土)午後2時、4時、島田市の六合公民館工作室で行う実行委員会では、国賠同盟中央副会長の若山晴史氏が「伊藤千代子の時代と現代」と題した話もされることになっています。

私と国賠同盟

清水支部 宮城島 正博

戦後77年目に入りました。父・宮城島忠男が共産党の活動に参加していることを嫌い、家出まで試みた軍国少年の私でしたが、父に説得され、活動に参加し始めた私の活動史も77年目を迎えました。卒寿となり、敗戦後のことを振り返ってみました。共産党清水地区委員会の事務所が私の家だったこともあり、自然と地区委員会の活動も手伝うようになりました。印刷物の作成、諸連絡、演説会の準備、機関紙配布等々。後に衆議院議員となる砂間一良さんの家が近かったこともあり、度々党の話を聞きに行きました。みんな寝食を忘れ、嬉々として活動していました。労働組合・青年組織もあちこちにつくられていきました。地元の小学校で行われた演説会に妨害に乗り込んだ右翼がかった青年たちを説得して入党させたりしました。昨年、総選挙では、残念ながら後退をしましたが、100年間続いている党の底力を信じて新しい前進をつくりましょう。

(県本部顧問・みやぎしま まさひろ)

憲法9条改悪を許さないとりくみの強化を

岸田首相は、改憲を後押しする日本維新の会やそれに同調する国民民主党などに力を得ながら「敵基地攻撃能力の保有」など危険な道に突き進んでいます。自民党は、改憲実現本部を中心に改憲の世論づくりに力を入れてきています。これを許さない草の根のたたかいが参院選にむけても激烈になります。「改憲ノー1000万署名」を国賠署名と併せて推進しましょう。

中東遠支部で会員拡大も署名も積極推進

昨年11月に新たに発足した中東遠支部は、結成月から毎月前進をと、会員拡大を意識的に進めて連続前進をはかっています。また支部委員会で学習にとりくみ、激励し合いながら国会請願署名も推進。会員の毎月前進と一月は、団体10、個人100を目標に、各種団体に所属している会員が所属団体に賛同署名を訴えながら個人署名も併せて促進しています。

催し案内

◆日本共産党オンライン演説会

- ・3月13日(日)午後2時より、静岡市のグランシップ大ホールと結んで
- ・弁士：志位和夫委員長、鈴木ちか党県女性・子育て部長、たけだ良介参議院議員

訃報

- ◆岳南支部・下條正吾さん、1月12日死去、92歳 県本部顧問でした。
- ◆西部支部・山口ほみ江さん、1月12日死去、78歳 ご冥福をお祈り致します。

会員拡大と国会請願署名到達

2022・2・8現在

支部名	会員拡大					国会請願署名							
	目標	12月 到達	増減	現在 到達	うち夫 婦会員	団体 目標	12月 到達	増分	現在 到達	個人 目標	12月 到達	増分	現在 到達
伊豆	27	22		22	6	50	5		5	350	20		20
沼駿	60	53		53	12	60	2	+5	7	800	10	+35	45
岳南	25	20	-1	19	6	40	3		3	350	19	+10	29
清水	45	34		34	10	60	11		11	1,100	73	+35	108
静岡	45	36		36	2	80	3		3	500	15	+10	25
志太榛原	130	121	+3	124	34	50	7	+8	15	400	88	+41	129
中東遠	95	89	+1	90	12	50	3	+18	21	400	50	+90	140
西部	73	65	+1-1	65	2	80	2	+1	3	750	57		57
県本部	-	-		-		30	1	+13	14	350	0		0
合計	500	440	+5-2	443	84	500	37	+45	82	5,000	332	+221	553

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

紅梅の一分咲き越し 雪の富士
梢のうぐいす 声もたてず

禍の中を 生命とくらし 守らるる
ご無事であれと 祈りは止まず

コロナ禍が 生命の重み 問いかける
平和と憲法 みんなの希(ねが)い

おさなごは 存在こそが 奇跡と言う
ヒューマンな心 あふれる天使

静岡 松浦美智世

編集後記

▼「身を切る改革」を標榜し国民の歓心を買いつつ、「敵基地攻撃能力の保有は不可欠」と、改憲と大軍拡の旗を振り、自公の補完勢力として「翼賛体制」づくりをすすめる維新の会
▼日本共産党が2月4日参院に提出した政党助成金法廃止法案にどういう態度をとるかは見物。まるまる政党助成金を受け取りながらそれにはほおかむりでは、維新の会の本音と役割も早晚見透かされてしまうというものです。

S・H

